

第1節 家庭・地域における取組			
	<取組の方向性>	評価	<検証結果>
1	家庭・地域における推進		
	・図書館を中心に関係施設・関係部署やボランティアグループ等の関連団体とのネットワーク化を図り、本や子どもの読書推進についての情報交換や協働の取組の充実を図ります。	△	【成果】各団体との意見交換を都度行っています。 【課題】意見交換は団体ごとに行っているため、今後団体等の活動調査を行い、図書館を中心としたネットワークの構築を図っていきます。
	・地域（自治会等）に対し図書館から本を貸し出す団体貸出 ⁽¹⁴⁾ の充実に努めます。	△	【成果】一部地域への団体貸出を行っています 【課題】地域への団体貸出は一部地域での実施にとどまっており、活動状況の把握が充分でないため、今後調査を行い、市立図書館を中心としたネットワーク化を図ります。
	・図書館等で行う読書推進行事等に親子で参加できるよう企画を工夫します。また、各家庭に行事の開催情報が届くよう努めます。	○	【成果】親子参加型行事を多数開催しています。開催情報は広報、HP、館内掲示にとどまらず、令和元年度からは寝屋川市公式 SNS でも発信をしています。 【課題】図書館の新規利用に繋がるよう、学校園等とも連携を深め、さらに PR していきます。
2	図書館における推進		
	【乳幼児期の子ども読書活動推進】		
	・図書館では、ブックスタート事業として、4か月児健康診査時に「赤ちゃんに絵本を贈ろう」事業を行っています。毎年度、約1,900人の赤ちゃんに絵本をプレゼントしていきます。この事業は、図書	○	【成果】平成19年度より開始した当事業は以降も継続しています。 平成27年度実績は1,839冊、平成28年度実績は1,748冊、平成29年度実績は1,594冊、平成30年度実績は1,562冊。

	館の基本的な事業の一つとして今後も実施していきます。		【課題】現在、贈呈している4タイトルの絵本は、既に持っている人も多いため、適宜内容を見直していきます。
	・赤ちゃんとお母さんが一緒に楽しめる絵本の講座「だっこでよんで あそんでよんで」の開催の他、図書館での絵本の読み聞かせ等を継続していきます。	○	【成果】平成19年度より継続して行っています。「だっこでよんで あそんでよんで」(3期×4回)平成28年度実績は延べ232人、平成29年度参加人数実績は延べ352名、平成30年度参加人数実績は延べ265名。 【課題】乳幼児期から図書館に親しんだ子どもたちも、成長とともに図書館に通わなくなる傾向にあるため、子どもたちが継続して利用したくなる環境づくりに努めます。
【学校園所の子ども読書活動推進】			
(読書のきっかけづくり・習慣化の推進)			
	・図書館と学校等が連携し、読書感想文コンクールや読書ノートなどの取組により、例えば、がんばった子どもたちに達成感を感じてもらえるような工夫をする等、読書のきっかけづくりや習慣化に努めます。	○	【成果】読書通帳(記述式)を希望者(市内小中学生)に図書館全館で配布しました。図書館での配布に加え、平成30年度からは学校図書室で学校司書が取扱いできるようにしています。平成30年度実績3,676冊配布。 【課題】利用が一部に限られているため、配布方法等さらなる周知に努めます。
(おはなし会・ブックトーク)			
	・子ども向けの本展の充実、行事としてボランティア団体との連携での「おはなし会」「夏のおはなし会」「小学生のためのストーリーテリング ⁽¹⁵⁾ 」「紙芝居」などを継続的に実施してい		【成果】各行事、継続して実施しています。 平成30年度実績「おたのしみ会」(中央)10回67人、「おはなし会」(東)24回177人、「小学生のためのストーリー

	きます。		テリング」(駅) 4回 23人、 「紙芝居タイム」(東) 23回 279人。 【課題】さらに参加者が増える よう公式 SNS などを通じ、積 極的に PR していきます。
	(図書館見学・職場体験)		
	・子どもたちが図書館に親し むきっかけづくりとして、幼 稚園や小学校からの図書館 見学、中学生の図書館職場体 験を積極的に受け入れます。	○	【成果】図書館見学及び職場体 験を受け入れています。平成 29年度実績(図書館見学)3 小学校 2 幼稚園 382人、(職 場体験)6 中学校 12人。(平 成 30年度は大阪府北部地震 のため中止) 【課題】図書館見学及び職場体 験は全中学校で実施してい るわけではないため、今後未 実施の小中学校園にも積極 的に PR していきます。
	(移動図書館)		
	・既に一部小学校で実施して いる移動図書館おきがる号 (16)の巡回派遣を多くの学校 に拡大していけるよう努め ます。	△	【成果】市内公立小学校 2校へ 移動図書館車の派遣を行っ ています。 【課題】移動図書館車派遣を有 効に行うため、学校との調整 を図り、派遣校の増加や拡充 をしていきます。
	(団体貸出)		
	・図書館では、小中学校への団 体貸出用の本の充実を図り ます。また市内小学校全体に 団体貸出を利用してもらえ るよう学校と連携し、条件整 備や利用状況の把握に努め ます。	○	【成果】図書館では団体貸出を 積極的に行っています。 【課題】未実施の学校園所もあ るため、積極的に PR 等して いきます。
	(学校への情報提供)		
	・小学校や中学校では、様々な テーマに沿った資料を利用		【成果】図書館では学校に「調 べ学習」の本・資料・情報の

	して行う「調べ学習(17)」を行っています。図書館では、学校に「調べ学習」のための本・資料・情報を提供します。	○	提供をしています。 【課題】学校の蔵書では限りがあるため、今後も「調べ学習」に利用できる資料を収集し、提供していきます。
	・学校図書館に携わる司書教諭・学校司書(18)・教職員等のスキルアップを図るための資料・情報提供や府立図書館や大阪公共図書館協会等が実施する研修情報の提供、講師の紹介等を行います。	○	【成果】学校司書を対象とした研修の実施、研修機会の情報提供を行っています。府主催の学校司書対象の研修で、平成30年度及び令和元年度に図書館の司書が読み聞かせを行いました。 【課題】今後も司書教諭・学校司書・教職員等のスキルアップのための情報提供等を行います。
	(YA サービス)		
	・中学生・高校生には、大人への成長過程にある時期だからこそ薦めたい、その時期に読んでほしい本を紹介する機会を積極的に作っていきます。	△	【成果】一部中学校で「えほんのひろば」を実施し、様々な本の紹介を行っています。 【課題】生徒が様々な本に触れる機会をさらに増やすため、中学校・高等学校にも団体貸出の利用を促進していきます。
	・中学生・高校生への読書推進のためYA（ヤングアダルト）資料の充実に努め、図書館での中高生の利用促進、中学校・高校での学校図書館での利用促進を図っていきます。	△	【成果】中学生・高校生に興味を持ってもらうため、各館でYA コーナーを設置しています。 【課題】読書離れが進んでいる中学生・高校生に興味を持ってもらうため、各館でのYA コーナーをさらに充実させていきます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館が中学校と連携し、本の素晴らしさ、読書の楽しさを実感してもらえるような機会を設けていきます。 	△	<p>【成果】中学生に図書館で職場体験をする機会を提供しています。</p> <p>【課題】大阪府北部地震以降、職場体験の受け入れをお断りしているため、今後体制を整え、受け入れを促進していきます。</p>
(子ども読書活動推進ボランティアの支援)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動を推進しているボランティア団体は、地域や幼稚園、保育所園等の子育て支援の施設で、また小学校や中学校で様々な活動を行っています。図書館は、ボランティア団体の活動を、積極的に支援していきます。 	△	<p>【成果】勉強会のための本の貸出等、ボランティア団体への支援を行っています。</p> <p>【課題】より一層の支援を行うため、図書館を中心としたネットワーク化を図ります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動を推進しているボランティア団体のスキルアップを図るため、府立図書館等で実施される研修等の情報を提供します。 	○	<p>【成果】研修情報の提供を行っています。</p> <p>【課題】ボランティア団体のスキルアップのため、さらなる情報提供をしていきます。</p>

第2節 幼稚園・保育所園・認定こども園・子育て支援センター・学校等における取組			
	<取組の方向性>	評価	<検証結果>
1	幼稚園・保育所園・認定こども園・子育て支援センターにおける推進		
	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園・保育所園・認定こども園・子育て支援センターは、それぞれの施設において、絵本を準備し絵本のコーナーの更なる充実に努めます。また、幼稚園教諭や保育士、市民ボランティア等による読み聞かせなども行っています。 	○	<p>【成果】幼稚園・保育所・認定こども園・子育てセンターでは絵本コーナーを設置し、児童・保護者に貸出を行っています。また、保育士、地域のボランティア及びPTA活動等において読み聞かせを行っています。</p> <p>【課題】絵本コーナーのさらなる充実を図るため、図書館と連携していきます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園・保育所園・認定こども園・子育て支援センターで利用する絵本は、図書館から団体貸出を受け内容を充実させていきます。 	○	<p>【成果】幼稚園・保育所・認定こども園・子育て支援センターでは子ども達に様々なジャンルの本に触れる機会及び子どもの興味関心を広げることを目的とし、図書館から絵本や紙芝居などの団体貸出を受けています。</p> <p>【課題】絵本の内容を充実させるため、今後も図書館から団体貸出を受けていきます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 保育所園では、絵本との関わりを集団の中でより多くの子どもに体験してもらうため、読み聞かせ等の「幼児のためのブックスタート」事業（平成21年度より開始・業務委託）を実施しています。この事業は、図書館の事業として継続実施していきます。 	○	<p>【成果】平成28年度実績は8保育所園48回、平成29年度実績は9保育所園81回、平成30年度実績は12保育所園94回実施いたしました。</p> <p>【課題】未実施の保育所園にも働きかけて、実施先を増やす努力をしていきます。</p>
2	学校における推進	評価	<検証結果>
	(学校図書館の充実)		

	<p>・学校での読書活動推進のため司書教諭のほか、学校司書等の活用に努めます。</p>	○	<p>【成果】各校の司書教諭と学校司書が連携を行い読書活動の推進を行っています。</p> <p>【課題】今後も各校の司書教諭と学校司書が連携し、さらなる読書活動の推進を行います。</p>
	<p>・学校図書館のさらなる充実のため蔵書や管理システムの調査を行います。</p>	△	<p>【成果】各校の蔵書等を毎年調査しています。</p> <p>【課題】各校の状況把握に努め、よりよい利用の仕方を市立図書館と連携して考えていきます。</p>
	<p>・司書教諭・学校司書・教職員等の子どもの読書活動に関係する人の更なる専門性向上のため、図書館と連携して学校図書館に関する知識・技術の研修に努めます。</p>	○	<p>【成果】図書館と連携し、学校司書連絡会を毎月、学校図書館連絡会を每学期開催しています。また、読み聞かせ講座等に参加することで、学校図書館に関する知識・技術の更なる向上を図っています。</p> <p>【課題】読書活動に関係する人の専門性向上させるため、連絡会を継続していきます。</p>
	<p>・学校蔵書の充実に努めるとともに市立図書館と連携し必要な本を用意します。</p>	○	<p>【成果】学校蔵書の充実に努めるとともに、団体貸出カードや個人貸出カードを活用し、必要な本を用意しています。</p> <p>【課題】学校の蔵書では限りがあるため、今後も市立図書館を利用し蔵書の充実に努めます。</p>
	<p>(学校での読書活動推進)</p>		
	<p>・児童・生徒が読書の楽しさを知る取組を積極的に行います。</p>	○	<p>【成果】学校司書が連絡会や研修で学んだ内容を、各校の司書教諭や図書担当者と共有し、児童・生徒が読書の楽しさを知ることができるよう取り組んでいます。</p> <p>【課題】児童・生徒が読書の</p>

			<p>楽しさを知ることができるようにするため、今後も連絡会や研修で学んだ内容を共有していきます。</p>
	<p>・本や新聞、資料等を活用した「調べ学習」の充実に取り組みます。</p>	○	<p>【成果】各校に新聞を配備することで、資料等を活用した「調べ学習」の充実に取り組んでいます。</p> <p>【課題】学校の蔵書では限りがあるため、市立図書館の資料を利用し、「調べ学習」のさらなる充実に努めます。</p>
	<p>・学校の読書環境充実のため、図書館と連携して移動図書館車の受け入れに努めます。</p>	△	<p>【成果】市内公立小学校2校で移動図書館車を受け入れています。</p> <p>【課題】移動図書館車派遣を有効に行うため、市立図書館との調整を図り、受入校の増加や拡充をしていきます。</p>
	<p>・図書館と連携して、子ども読書活動推進のイベント(子ども版ビブリオバトル(19)、えほんのひろば等)の実施に努めます。</p>	○	<p>【成果】学校図書館連絡会でビブリオバトル等の研修を実施し、各校において子ども読書活動を推進しています。</p> <p>【課題】児童や生徒が読書への興味を持つきっかけを作るため、今後も各校において子ども読書活動推進のイベントをしていきます。</p>
	<p>・地域の読書関係団体や子どもの読書活動に関わる行政機関、公共施設、図書館との連携・協力を努めます。</p>	○	<p>【成果】各校において、読み聞かせ等で子どもの読書活動推進ボランティアと連携・協力を進めています。</p> <p>【課題】児童や生徒が読書への興味を持つきっかけを作るため、地域の読書関係団体や子どもの読書活動に関わる行政機関、公共施設、図書館とのさらなる連携・協力を進めていきます。</p>

第3節 障害のある子どもや外国人の子ども等への取組

	<取組の方向性>	評価	<検証結果>
1	<p>障害のある子どもの読書支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある子どもの読書活動環境を整備するため、図書館はさわる絵本や布の絵本、点字資料(20)や録音図書(21)などの整備・活用を図るとともに、点字図書館などの専門機関や関連部署との連携を図っていきます。 ・ 拡大読書器、音声読み上げ機など障害者が読書しやすい機器の利用促進に努めます。 ・ 朗読ボランティアや布の絵本手作りボランティア、点訳ボランティア・録音ボランティアとの連携を図り、対面朗読や資料の収集・充実に努めます。図書館や学校、幼稚園、保育所園、医療型自動発達支援センター「あかつき園」、福祉型児童発達支援センター「ひばり園」「第2ひばり園」などで、障害のある子どもたちの個々の状況や発達段階に応じた読書活動の支援を行います。 ・ 障害のある子どもの図書館見学や職場体験を通じ、学校や福祉施設との連携を図り、図書館に親しみ、読書への興味 	<p>△</p> <p>△</p> <p>△</p> <p>△</p>	<p>【成果】点訳絵本(22)及び点字付きさわる絵本蔵書数約170冊、布の絵本5冊。</p> <p>【課題】専門機関や関連部署との連携を図ります。また録音図書は一般(大人向け)のものがほとんどで、子ども向けのものはないため、今後、ボランティア団体と連携し子ども向けの蔵書を増やしていきます。</p> <p>【成果】各館に設置してます。</p> <p>【課題】利用者が非常に限られており、機器を知らない人もいる可能性があるため、広く周知していきます。</p> <p>【成果】ボランティア団体との連携を図り資料の収集に努めています。</p> <p>【課題】学校・園・支援センター等の発達段階に応じた読書活動の支援を図るため、ニーズの把握に努めます。</p> <p>【成果】中央図書館リサイクル市を通じて、あかつき園・ひばり園への読書活動の支援を行っています。</p>

	や関心を引き出すことに努めます。		【課題】福祉施設や学校との連携を強める必要があるため、障害がある子のニーズを的確に把握し、読書支援を行っていきます。
2	外国人の子どもの読書支援	評価	
	・市域に住む外国語を母国語とする人（子ども）や外国の言語や文化等に関心のある子ども向けに図書館では外国語の絵本や児童書を継続して収集し、提供します。	○	【成果】外国語の絵本等の収集に努めています。外国語の絵本蔵書数約 850 冊。 【課題】外国語の絵本や児童書のさらなる充実を図るため、今後も収集に努めます。
	・収集した外国語の絵本や児童書を寝屋川市駅前図書館の児童コーナーに設置している「アジア子ども文庫」を中心に展示していきます。	○	【成果】収集した外国語の絵本や児童書を「アジア子ども文庫」を中心に展示しています。蔵書数約 150 冊。 【課題】収集した外国語の絵本や児童書を様々な人に見てもらえるよう「アジア子ども文庫」にとどまらず、各館に展示していきます。
	・外国からやって来た子どもたちが寝屋川市の地域や学校等において円滑に生活や学習ができるよう図書館や学校、地域、各種団体が連携して支援に努めます。	△	【成果】日本でスムーズに生活できるよう、外国人のためのハンドブック等を所蔵しています。 【課題】地域・学校との連携が進んでいないため、ニーズを的確に把握し、必要な資料等を提供していきます。